

川辺小だより 冬休み号

春日部市立川辺小学校
平成29年12月22日

進んで学び考える子 思いやりのあるやさしい子 元気で粘り強い子
(知恵いっぱい) (笑顔いっぱい) (元気いっぱい)

川辺小ホームページ <http://www.kawabe.av-center.kasukabe.saitama.jp/>

子どもたち みんなで渡せば 怖くない

校長 長谷川 博

その昔、「赤信号 みんなで渡れば 怖くない」という言葉が流行りました。本稿の題目は、それに似ていますが、趣旨は全く違います。むしろ、それとは正反対の意味です。やはり、ルールを守ってこそその交通安全、そして、学校教育ですから・・・。

時として、学校では、正常な教育活動を妨げる状況が起きます。今学期末、本校ではインフルエンザが流行し、2つの学年で学級閉鎖もしました。今から8年前の平成21年には、「新型インフルエンザ」の対応で、学校だけでなく、社会全体が苦慮していました。各学校では、学年・学級閉鎖、行事の中止・延期・制限、手指の消毒、うがい・手洗いの反復指導などにより、感染の予防や拡大の防止に努めました。次の年の1月に「インフルエンザ流行発生警報の解除」がされ、以降は、正常な教育活動に戻りました。その時点で、各学校においては、疑い例も含めると半数程度の罹患率があったといわれています。中には、肺炎を併発し、入院した児童もいました。当時は、正常な状態に至るまで、保護者の検温や生活指導、校医さんをはじめとした医療機関のアドバイス、県や市の保健関係部局からの情報提供や支援など、健康な方面へ「子どもたちを渡す」共通行動がありました。そのことにより、当初は、「パンデミック」や重篤な症状を恐れていた「新型インフルエンザ」も、子どもたちをみんなで渡したことで、怖くなくなりました。これが本稿の趣旨です。「赤信号を渡る」意味でないことを重ねて強調します。どうか、お健やかな新年をお迎えください。

川べっ子まつり 1・2年生 12/1 (金)

毎年2年生が計画・準備・運営し、1年生を招待する「川べっ子まつり」が今年も盛大に開催されました。1年生は、2年生が考えてくれた色々なゲームや出し物に大喜びで、会場は大賑わいでした。1年生に優しく声をかけながら、まつりを盛り上げようと頑張っている2年生の姿が、とても微笑ましく、頼もしく見えました。



租税教室 6年生 12/5 (火)

税理士の方を講師にお招きして、租税教室を行いました。6年生は、今、社会科で「わたしたちの生活と政治」の学習をしています。みんなの願いを実現するために、政治の仕組みの中で、どのように税金が使われているのかをしっかりと学習することができました。



社会科見学 5年生 12/15 (金)

5年生が、社会科で学んだ理解を更に深めるために社会科見学に行きました。羽生市の中島紺屋では、日本の伝統文化である藍染めを体験し、世界に一枚だけのハンカチを作りました。また、群馬県太田市の富士重工では、日本の工業を代表する自動車工場を見学し、機械の大きさや巧みに動く工業用ロボットに驚かされたようです。



「跳び箱教室」12/5 (火) 7 (木)

運動委員会の子どもたちが中心となり、「跳び箱教室」を開催しました。今回は開脚跳びと台上前転です。運動委員会の子どもたちの的確なアドバイスと励ましに、参加した大勢の子が自分の目標を達成していました。



第2回学校保健委員会 12/11 (月)

第2回学校保健委員会は、「すこやかな毎日のために～正しい洗顔と紫外線対策～」と題し、資生堂ジャパン株式会社様から講師の先生をお招きして行いました。

正しい洗顔のしかたや日焼けすることの弊害とその予防について教えていただきました。

参加していただきました保護者のみなさま、ありがとうございました。

